

令和2年(2020)12月 『稲刈り、おだかけ、そして脱穀』

松子の田んぼでは、10月後半から11月初旬にかけて緑米（古代米）の収穫作業が行われます。今年は台風襲来こそなかったものの、長雨、日照り、イノシシ被害など、農作物にとって厳しい日々が続きました。

10月31日秋晴れの中、緑米の稲刈り開始。まだ水の残る田んぼに入り、泥んこになりながら一株一株手刈りしていきます。最後の一株を刈り取ると、クタクタになった皆の顔が最高の笑顔に。

松子の田んぼは機械が使えないため、昔ながらの手刈りとおだかけをしています。昔は脱穀後の稲藁を縄やむしろ、正月飾りなど様々に利用していたようですが、今は必要とされなくなりました。それでも当会では毎年12月に、皆でしめ飾りづくりをしています。

田んぼにおだかけがある風景を残してゆきたいものです。

<問合せ先>

吉田 42-6784 小池 070-4022-7098

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

